

奈良公園

古都の文化財を楽しみながら
巨樹めぐり



東大寺、春日大社、興福寺など貴重な歴史的な文化遺産が数多くみられる奈良公園。古くから多くのシカが生息することでも有名ですが、実は豊かな自然が残され、数々の巨樹にふれることができます。古都のロマンに思いを馳せながら、奈良公園の歴史を見守ってきた巨樹たちを巡ってみませんか。

【アクセス】

- ・近鉄線「近鉄奈良駅」から徒歩5分
- ・JR「奈良駅」から徒歩20分



1 奈良公園でいちばん太いクロマツ 興福寺国宝館近くのクロマツ

幹周り 354cm
樹高 28m
樹齢 約250年(推定)



奈良公園内には、古くから景観を楽しむため、クロマツが多く植えられていたそうです。その中でも一番太いのがこの木。このクロマツを植えた江戸時代の人々が今の姿を見たら、きっと誇らしく思うことでしょう。

2 明治天皇ご来臨の記念樹 クスノキ三兄弟

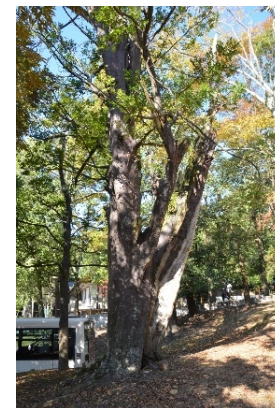
幹周り 480cm
樹高 26m
樹齢 約140年(推定)



明治41(1908)年の陸軍大演習にご臨席された、明治天皇がお掛けになった場所に記念植樹されたという3本のクスノキ。3本とも樹勢良く育ち、芝生に映えるのびのびとした姿はまるで森のようです。

3 5世紀以上生きてきた異郷の巨樹 樹齢500年超えのナギ

幹周り 330cm
樹高 13m
樹齢 500年以上



針葉樹らしからぬ葉を持つナギは、九州や台湾などに自生し、奈良時代には春日大社に献じられたものが広がったと言われていています。ゆっくりと育つ樹種として知られ、この太さでも樹齢は500年以上。



4 初夏に薄紫の花をつける爽やかな巨樹 東塔跡近くのセンダン

幹周り 450cm
樹高 20m
樹齢 不明



センダンは邪気を払うと言われ、古くは墓地に植えられていたそう。5月中旬には、薄紫色の花をたくさんつけた爽やかな姿を見ることができます。先人たちも、その姿を愛でていたのかも。



5 京街道起点の往来を見守ってきた木 西大門跡のエノキ

幹周り 395cm
樹高 30m
樹齢 不明



エノキは、目印と憩いの場の提供を目的として、一里塚に多く植えられました。このエノキも、東大寺の「転害門」を起点とする京街道の一里塚に植えられたものと考えられています。どれほど多くの旅人たちが、この木の下を歩き交ったのでしょうか。

【巨樹・巨木林調査とは？】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm以上の木を対象に、自然環境保全基礎調査の一環として、昭和63年から「巨樹・巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林データベース」ウェブサイトをご覧ください。
(<https://kyoju.biodic.go.jp/>)

【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス！
(URL:<http://www.kyojyu.com/>)

巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・巨木林」の発行、「巨木を語ろう全国フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林に関する活動を行っています。

奈良公園

古都の文化財を楽しみながら巨樹めぐり

4

初夏に薄紫の花をつける
爽やかな巨樹

東塔跡近くのセンダン

幹周り 450cm
樹高 20m
樹齢 不明
所在地 東大寺東塔跡から東へ100m

東大寺にも寄り道

ベンチで
ほっと一息

5

京街道起点の
往來を見守ってきた木

西大門跡のエノキ

幹周り 395cm
樹高 30m
樹齢 不明
所在地 東大寺西大門跡地

スタート
近鉄奈良駅

コースの所要時間は2時間30分程度。
文化財もふくめ、奈良公園全体をゆっくり
歩いて楽しむなら半日は必要。



3

5世紀以上
生きてきた異郷の巨樹

樹齢500年超えのナギ

幹周り 330cm
樹高 13m
樹齢 500年以上
所在地 春日大社宝物殿の北側

2

明治天皇
ご来臨の記念樹

クスノキ三兄弟

幹周り 480cm
樹高 26m
樹齢 140年(推定)
所在地 飛火野の北側

1

奈良公園で
いちばん太いクロマツ

興福寺国宝館近くのクロマツ

幹周り 354cm
樹高 28m
樹齢 250年(推定)
所在地 興福寺国宝館の区画の東北の角

【奈良公園の自然】

世界遺産をはじめとする数多くの文化財は有名ですが、豊かな自然もこの公園の魅力です。特別天然記念物である「春日山原始林」をはじめ、「奈良のシカ」、「春日大社ナギ樹林」、「知足院ナラノヤエザクラ」など、多くの天然記念物を見ることができます。

また、奈良公園のなかではシカ以外にもムササビや水鳥などいろいろな生きものに出会えるかもしれません。実はムササビは松ぼっくりが大好き。クロマツの下には、ムササビが食べた後の、まるでエビフライのような姿になった松ぼっくりがたくさん落ちています。巨樹を見上げたら、ムササビのかわいらしい顔がのぞいているかも？



【シカとフン虫】

奈良公園といえばシカが有名ですね。奈良公園は約1,200頭の野生のシカが生息する珍しい都市公園で、このシカたちは国の天然記念物に指定されています。園内では鹿せんべいというシカのおやつが販売されており、顔の前に出すとお辞儀をしてから食べるシカもいるとかいいたか…。

そして、もう一つ、奈良公園で忘れてはいけない生き物が、シカのフンを食べるフン虫の仲間。ファーブル昆虫記にも出てくる「フンコロガシ」も、フン虫の一種です。日本には約150種のフン虫がいると言われていますが、そのうちの約50種が奈良公園で確認されているそうです。それだけエサ(シカのフン)が豊富ということですね。巨樹を見上げたら、足元にも目を向けてみては？



野生のシカに
会えるかも？

興福寺を目指して
歩こう！